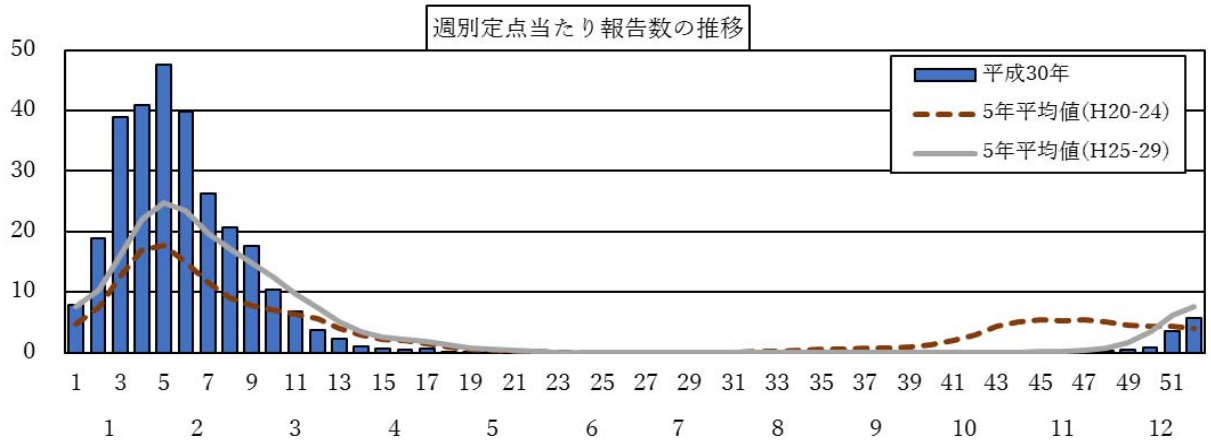
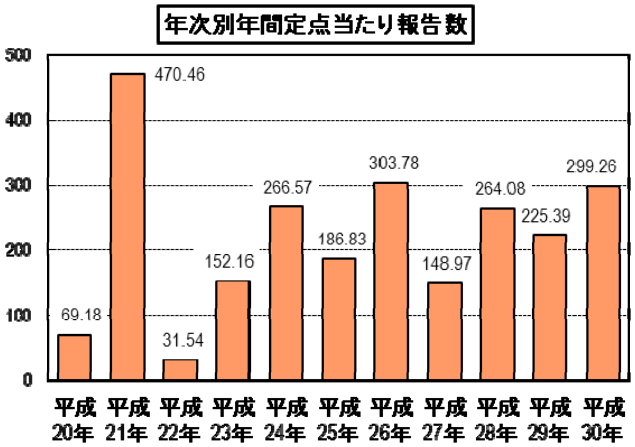
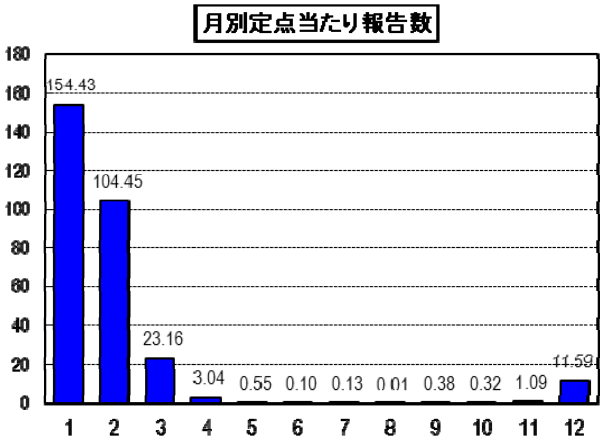
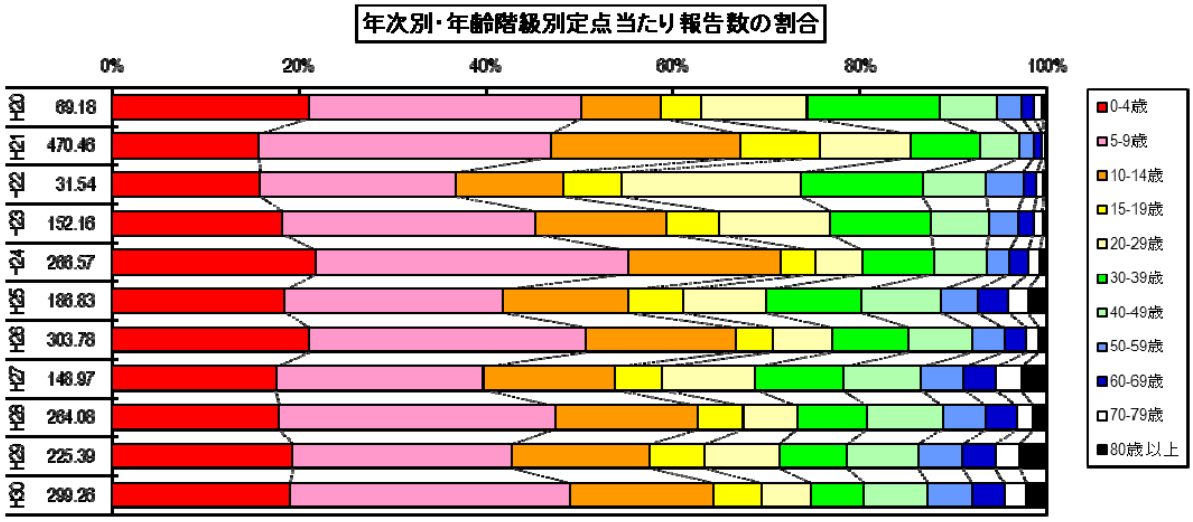
（5） 定点把握対象五類感染症の感染症別報告状況

ア インフルエンザ定点

平成30年は年間報告数20,649例，年間定点当たり報告数299.26，年間定点当たり報告数の過去5年平均値（平成25年から平成29年まで。以下同じ。）との比1.33，前年比1.33であった。

月別定点当たり報告数では，1月（154.43），2月（104.45）が多く，5月～11月の報告数は少なかった。

年齢階級別では，5～9歳（30.0%）が最も多く，次いで0～4歳（19.1%），10～14歳（15.3%）の順となり，14歳以下が全体の64.4%を占めた。